

宝 安 寺 社 会 事 業 部	
法 人 本 部	☎250-0004 小田原市浜町1-4-38 ☎0465-22-7667 ☎0465-24-4411
小田原愛児園	☎250-0004 小田原市浜町1-3-8
小田原乳児園	☎0465-22-3523 ☎0465-22-3524
ほうあんりすのもり	☎250-0004 小田原市浜町1-3-8 ☎080-4371-1900 ☎0465-22-3524
ほうあんのぞみ	☎250-0004 小田原市浜町1-2-15
ほうあん生活ホーム	☎0465-22-8837 ☎0465-22-8089
ほうあんふじ	☎250-0201 小田原市菅我大沢7 ☎0465-41-4010 ☎0465-41-2666
ほうあんふじみのさと	☎250-0201 小田原市菅我大沢7 ☎0465-41-4020 ☎0465-41-2777
ほうあん第一しおん	☎250-0024 小田原市根府川389 ☎0465-29-0146 ☎0465-29-0705
ほうあん第二しおん	☎250-0024 小田原市根府川383 ☎0465-28-2250 ☎0465-28-2251
ほうあんホームシトラス	☎250-0024 小田原市根府川389-1 ☎0465-20-4001 ☎0465-28-2251
こどもホツと相談カフェ	☎250-0042 小田原市荻窪362-2 ☎0465-32-3020 ☎0465-32-3085

福祉ほうあん



福祉の世界で働くってどんなこと？

仕事から何が見えてきましたか

発行／社会福祉法人宝安寺社会事業部
☎250-0004 小田原市浜町1-4-38
☎0465-22-3030 ☎0465-24-4411
伝え方研究プロジェクトチーム(上田理、岡本健司、笠原敬俊、栢沼玲也、小林亜衣、中山里奈、新倉悠、武藤正、大水清世)
デザイン／鈴木 住夫
印刷／棚セトプリント

<http://houan1900.jp>

園庭でクッキング保育中の愛児園の吉野さん

音楽療法でダンス♪第二しおんの木村さん



「はゆうり、大きくなったね」と乳児園の馬場さん

人生にはたくさんの方との出会いがあります。福祉の世界で働く私たちは、さまざまな人との第一線での出会いの中で、他者を理解すること、個性を尊重することの大切さに直面しています。そして新しい自分との出会いに直面しています。今号では福祉の現場で働き、人と関わることで成長している「宝安寺社会事業部で働く人たち」をご紹介します。

(伝え方研究PT委員・栢沼玲也)

ほうあん第二しおん／生活支援員・木村かおりさんに聞きました
**一緒に喜び、一緒に笑い、一緒に悩みなながら
毎日の出来事に向き合っていきたい**

Q どうしてこの仕事を選んだのか教えてください。

A 私は知的障害のある従兄弟がおり、彼が小さい頃から成長していく姿を傍で見てきました。一つのことができるようになるまでに長い時間がかかることもありました。音楽が好きな従兄弟は、私のピアノを隣で聴いているのが好きだったのですが、手探りで音階を探しながら指1本で曲を弾き始め、そのうちに5本指で曲を弾くようになり、今では両手で弾けるようになっていています。このことには、10年以上かかった分の感動がありました。このような経験一つひとつを大切に、もともとたくさん感動し、私自身も成長したいと思ったのが、この仕事を選んだ理由です。

Q 現在の職務内容を教えてください。

A 利用者さんの「生活の質の向上」というと難しく聞こえますが、今できることを将来的にも維持できるように、そしてさらにできることを増やすためのお手伝いをさせていただいています。

例えばビーズでの製作作業。3cmほどの大きなビーズを通すことから始め、方法の工夫や声のかけ方で徐々に小さいビーズにチャレンジしていききました。

手先が器用になることは、日常生活の中でできることを増やすことにつながります。作品の幅も広がり、自分の作品を市民の皆さんに見てもらい、誇らしく思っていたこともできるでしょう。ほうあん第二しおんでの活動は人とのつながり、社会とのつながりを生み出していき、ビーズ一つを取っても可能性は無限大です。私は利用者さん一人ひとりが得意なことや好きなことを見つけられるような、またビーズを通すといった第二しおんでの活動をもっと好きになっていただけるような支援方法を模索し、試行錯誤しています。

Q 今、仕事をしているなかでの悩みや課題は何ですか？

A 同じ目標に向かっていくための、職員間の意識の統一です。たくさんの方の支援員、さまざまな職員がいるなかで、同じ方向に向かうことは難しいことですが、これも自分の仕事の一部だと思っています。利用者さんと同じく、支援員にも人の数の分だけ違った思いがあります。一つの絵を描くの「ここは青がいい」と言う人もいれば、「赤がいい」と言う人もいます。絵には



【木村かおりさんプロフィール】接客業などを経て障害福祉の世界に飛び込む。絵画制作やもの作りなどの芸術活動が趣味。コンクールにも出展している

答えがなく、塗られている色がそのまま形となり、作品となります。「青」も「赤」も認めて一つの絵を作り上げていくことを皆で美しく感じていたい……というのが私の気持ちです。

Q これがあるから頑張れる！というものがあれば教えてください。

A 何といっても、利用者さんの笑顔です。それと知らなかった一面(笑いのツボや好きなこと)を発見できたときの嬉しさです。私の顔や名前を覚えてくれたとき、「木村さん、おはよう」と声をかけてくださったときです。この世界には、数えきれないほどの人がいるのに、その中で私たちが偶然出会い、今この瞬間があるということにエネルギーをもらっています。

Q 今後の目標を教えてください。

A 全ての利用者さんが、将来も安定した生活を送り、その方の希望に添って生きていけるようになるというのを目指しています。そして利用者さんが関わる機関(事業所、病院、相談所、行政など)のネットワークの中で、自分の役割を確実なものとして、今自分にできること、手助けできることを常に忘れないでいきたいです。

私の目標……。私にできることは、利用者さんの生活の質の向上はもとより、まず人に心を許し、人と接することによって感じていただきたいということです。人は人と関わらなければ生きていくことはできません。人を好きになるには、まず自分を認めてくれる人と出会うことが必要だと思います。私も、利用者さんの訴えをうまく理解できず、ごめんなさい……と思うことがありますが、いつも「なぜ? どうして? 私だったらどうしてほしいかな?」と必ず考えるようにしています。これからも一緒に喜び、一



〔馬場 真琴さんプロフィール〕短大卒業後、大学病院、クリニックでの仕事に従事し、その後、小田原乳児園に勤務。3施設の看護師を担当する。現在、2児（5歳と2歳）のお母さん

「この仕事を選んだきっかけを教えてください。」
小学生的頃、虫垂炎になり手術を経験しました。手術中、鏡に映る手術の様子をじつと見ていたところ、看護師さんから「血を見ても平気なの？ あなたは看護師に向いているから将来なりなさい」と勧められました。その言葉がずっと印象に残っていて、看護師の道を目指すきっかけになりました。また母が医療従事者であったため、小さい頃から看護師という職業を身近に感じ、憧れを抱いて目指すようになりました。早くから迷いなく決めていたので、中学を卒業すると同時に看護の勉強の道に進みました。

2人目の子どもの育児休暇明けにも仕事復帰する予定でしたが、勤務時間の調整がうまくいかずに悩んでいました。そんな折、子どもの入る保育園で看護師募集のポスターを見て、話を聞いたのがきっかけで、今この仕事をさせていただいています。

実際に働いてみると、小田

原愛児園・乳児園ではどの職種もそれぞれ専門分野での知識を生かしつつ、協力し合っている中、とても働きやすいです。また、誰もが仕事としてだけでなく、心から子どもたちに愛情を注いでいることが保育の様子から伝わってくるので、私も温かい気持ちで子どもたちと関わる事ができています。

この仕事の魅力、これから頑張れる!!というものは何ですか？

昔から子どもが好きという気持ちもあり、いつも明るくパワフルな環境のなか、かわい子子どもたちと関わり、成長を感じながら仕事ができるということはこの仕事の一番の魅力です。印象に残っているのは、2年前のひまわり組での出来事。まだうまくしゃべることができなかった子がしばらくして「ばーばセンセツ」と初めて呼んでくれました。その子の成長の喜びを実感しながら、今まで看護師をしていて「先生」と呼ばれたことがなかったため、私のことも先生と呼んでくれたという驚きと嬉しさで、この仕事に対する意欲がより強くなった瞬間でした。また、働く保護者の方にとって、看護師としての自分の存在が、保育園に安心して子どもを預けられる理由の一つになっ

てもらえればとても嬉しく思います。責任も大きいですが、保護者の方や子どもたち、先生方に言われた一言が自分の存在価値、やりがいにつながっています。

そして、家族の応援と協力も頑張りの原動力になっています。幸せなことに、私の場合は自分の子が乳児園に通っていたので、子どもたちに働いている姿を見せることができ、子どもたちなりに私の仕事を理解して「ママ、看護師さん頑張つてね」と応援してくれま

す。夫も積極的に家事に協力してくれているので、細かいことにこだわらず感謝して任せています。家族のサポートと子どもの笑顔に元気をもらい、気持ちよく働くことができています。

保育園に通う子どもたちが健やかに成長していけるように努めたい

小田原乳児園／看護師・馬場 真琴さんに聞きました



木村さんがプロデュースした作品はヒルトン小田原リゾート&スパ様のご協力により開催された「きらりフェスタin HILTON」というイベントに出展されました。「この作品は利用者さんの『好きなこと』『得意なこと』で出来上がっています。紙を千切る、ビーズに糸を通す、自由に絵を書く……それぞれ無造作に見える作品の背後に、利用者さんの笑顔があるということを見つけていたかったという思いで展示しました」

原愛児園・乳児園ではどの職種もそれぞれ専門分野での知識を生かしつつ、協力し合っている中、とても働きやすいです。また、誰もが仕事としてだけでなく、心から子どもたちに愛情を注いでいることが保育の様子から伝わってくるので、私も温かい気持ちで子どもたちと関わる事ができています。



小田原乳児園・愛児園、ほうあんのぞみの看護師、そしてひまわり組の保育と、多岐にわたる仕事は大変だと思いますが、子どもたちや利用者さんと関わるうえで大切にしていることは何ですか？

3施設なので対象となる人数が多く確かに大変ではありますが、顔と名前を覚えてきちんと呼びかけられるようにしています。私が仕事で関わる場合、相手のお子さんと利用者さんの多くは痛みがあったり辛かったり不安が大きいときです。そんなときに、あまり知らない人に痛い所を見せたり触られたりするとは、余計に苦痛や不安感を強めてしまいます。そうならないように普段から名前をきちんと呼んでコミュニケーションを取ることが大切なことだと思っています。また、若い園児や利用者さんは痛みや体の不調を自分の口でうまく伝えるのが難しいことが多いので、不調に気づいたり、気持ちや痛みをうまく伝えるように普段の元

気な様子を見ることも大事だと思います。関わる時間を大切に、自分身も人と接することが好きなので、その時間を楽しんでいます。

今後の課題や目標についてお話しください。

乳児園で働くようになり、「保健だより」を作るという経験を初め

『福祉ほうあん』発行に協賛してください。協賛金は1回発行につき5000円、年4回発行につき2万円です。個人としてご協賛いただける方も、ぜひお申し込みをお願いします。お申し込み、お問い合わせは宝安寺社会事業部(☎0465-22-3030)へ。

竹広林業(株)	代表取締役	高 木 大 輔	小田原市寿町3-1-39	☎0465-34-6600
(有)タチバナ商事	代表取締役	露 木 長 治	小田原市中村原154	☎0465-43-0537
		田 中 浩	埼玉県北足立郡伊奈町小室2241-2	☎048-721-0872
茶半家具(株)	代表取締役	永 井 健 詞	小田原市栄町2-12-35	☎0465-23-1204
(有)ちんりう商事			小田原市栄町1-2-1	☎0465-22-4951
(有)鳥かつ楼	代表取締役	芹 澤 孝	小田原市浜町3-1-46	☎0465-22-2078
(株)西川組	代表取締役	湯 川 勇 二	小田原市東町1-13-35	☎0465-34-2424
(有)日進電気商会	取締役	長 田 皓	小田原市鴨宮287-4	☎0465-48-6288
仁天堂医院	理事長	岡村 俊一郎	小田原市浜町1-4-15	☎0465-22-5188
(株)長谷川建材社	代表取締役	長谷川 誠一	小田原市浜町1-1-35	☎0465-22-1346
(有)花のコウノ	代表取締役	河 野 秀 雄	小田原市栢山2421-3	☎0465-37-2882
浜野電気管理事務所		浜 野 喜 一	小田原市矢作321-6	☎0465-48-7475
平原眼科クリニック	院長	平 原 敦 子	小田原市南鴨宮3-44-3	☎0465-47-9330
古橋産婦人科医院	院長	古 橋 進 一	小田原市南町2-1-43	☎0465-22-2716
(有)古屋花店	取締役社長	古 屋 正 広	小田原市栄町1-14-16	☎0465-22-3043
文化堂印刷(株)	取締役社長	萩 野 健 治	小田原市寿町1-10-20	☎0465-34-9206
(株)ホンダ販売 小田原	代表取締役	太 田 茂 雄	小田原市寿町5-10-21	☎0465-34-8012
(有)松坂屋	取締役社長	越 川 俊 雄	小田原市栄町1-16-46	☎0465-22-3020
(株)マルキ	代表取締役	鈴 木 武 彦	小田原市飯泉1373	☎0465-47-5437

マルク本店	取締役会長	高 井 哲	小田原市本町2-4-23	☎0465-23-0909
三宅塗装工業(株)	代表取締役	三 宅 史 大	小田原市浜町3-12-26	☎0465-22-3689
	宝安寺檀家	村 上 みつ系	小田原市南町4-10-15	☎0465-23-2760
(株)村山商店	代表取締役	村 山 泰 久	小田原市扇町2-27-28	☎0465-34-5685
諸星整体施術院	院長	諸 星 茂	小田原市栄町2-11-34	☎0465-22-8067
安間医院	院長	安間 美津彦	小田原市栄町2-7-18	☎0465-23-3567
山口耳鼻咽喉科医院	院長	山 口 潤	小田原市浜町3-12-1	☎0465-22-2631
(株)山 安	代表取締役社長	山 田 義 征	小田原市羽根尾510	☎0465-23-0011
横田小児科医院	理事長	横田 俊一郎	小田原市北ノ窪515-3	☎0465-34-0666
吉井整形外科	理事長	吉 井 新 一	小田原市栄町2-15-16	☎0465-24-5151
読売センター 小田原中央	代表	坂 本 敬 一	小田原市中町3-10-11	☎0465-21-0312
読売センター 小田原報徳	所長	綿 貫 徹	小田原市堀之内1	☎0465-36-3683
読売センター 小田原西部	代表	高 田 正	小田原市扇町2-7-15	☎0465-35-0746



【吉野直美さんプロフィール】保育士と調理師の資格取得後、保育士として保育園に勤務。結婚し子育てが一段落した後、お弁当屋さんでの調理を経験。その後、小田原愛児園に調理師として勤務。好きな言葉は「明けない夜はない」。

の数も5名ほど。そして1人で全員分の給食を作っていた方はみんなに「母ちゃん先生」と呼ばれ、親しまれていました。その頃は忙しいときなどに「ちよつと手伝って」と母ちゃん先生に頼まれ、給食室に入っていました。かなり古い話なので今では衛生上ありえない話ですが……(笑)。ですが、母ちゃん先生がいつも優しい笑顔で子どもたちに囲まれていた姿は30年余り経っても忘れられません。小田原愛児園では週1回のペースで各クラスの子どもたちに会いに行き、喫食の

接関わっている現場の保育士の意見を聞き、残菜を減らしていきたいです。また、食を扱う現場として緊張感があるため、職員に教えるときの言い方や注意の仕方がつい厳しくなってしまうがちですが、もっと言い方を工夫したりして気をつけていかなければと思っています。調理室の職員は皆、真剣に仕事に取り組んでくれています。またメニューのことや、作業工程のことなどいろいろと考えてくれていますそして私自身、少しずつ後輩を見守れるようになってきています。あと、数年で定年を迎えますが、自分が抜けても調理室がしつかりと回るように仕事を引き継いでいきたいと考えています。

私の目標は、子どもたちができるだけ好き嫌いなく食べてくれる給食作り

ご寄付・ご寄贈			
宮 原 勝 治 様	-----	20,000円	
小 嶋 章 司 様	-----	20,000円	
フォトリエ・グリムのお客様	-----	49,860円	
平 原 眼 科 様	-----	21,558円	
鈿 持 功 様	-----	10,000円	
(ほうあん会バーベキュー懇親会)			
高 見 豊 様	-----	野菜多数	
新玉地域社会福祉協議会 様	-----	タオル多数	
古 屋 花 店 様	-----	七夕飾り用の笹	

Q どうしてこの仕事を選んだのか教えてください。

A 「料理をするのが好き」というのが一番の基本にあります。私には昔、子どもたちを預かる施設をやつてみたいという夢があったので、短大で保育士の資格を取った後、調理師学校へ通い、調理の資格も取りました。

夢は現実とはなりませんでしたが、その後、結婚して家庭に入り、調理師としてお弁当屋さんで働いていました。しかし、もっとしっかり働いてみたいと思い、小田原愛児園の調理師を希望しました。現在は主任として調理の統括をしています。給食をスムーズに出

すことと衛生管理に努めています。

Q この仕事の魅力を教えてください。

A 食材がうまく切れた！ おいしくできた♡ 喜んでもらえた♪ など、うまくいったときの達成感が味わえること。食は好みもあるので全員が「おいしい!!」という正解がないのが難しいところですが、「今日のメニューは、食べがよくなかった」などと、すぐに保育士から現場の意見が聞けるので子どもたちの様子がわかり、ありがたいです。

私が以前保育士として働いていた保育園は、子どもの定員が60人で保育士

状況を見に行くと共に、子どもたちとのふれあいを持つようにしています。最近では「全部、食べたよ」「おいしかった」などとお皿を持ち上げて見せてくれたり、「給食の先生ノ」と声をかけてくれる子どもが増えてきました。とても嬉しくなり、また頑張ろう♪と思えます。母ちゃん先生にちよつとも近づけているのかな? 思いつつ、今後も笑顔で接していきたいと思います。

の食材を使ったメニューの日、新メニューの日には、給食室の職員が園内放送で子どもたちにお話をして、食材の採れた産地や栄養、料理の名前などをわかりやすく伝えていきます。夕方、お迎えの保護者に「今日の給食、これだよ」「全部、食べられたよ」と嬉しそうに話す子どもの姿を見ると、私まで笑顔になります。

子どもの成長の基礎作りの時期に、「食」を通して関わりを持つことができ大きくなるのを見守れることが、年齢と共に忘れかけていた感動を味わわせてくれます。子どもたちには自信を持つて成長して欲しいと願っています。

てしました。今では感染性胃腸炎が流行したりすると、そのつど保護者の方に「保健だより」で情報を伝えていくようにしています。しかし、子育てのなかで不安に思っていることや具合が悪いつきの対応の仕方など、保護者の方々が求めているものはさまざまであり、そんな保護者の方の思いを理解し、知りたい情報を伝えられたらと思うことも多くなってきました。それができるようになることが今後の課題の一つです。

小田原愛児園／調理師・吉野 直

目標は、子どもたちが
好き嫌いなく食べ

次に、職場内での衛生・保健指導です。現在、子どもが怪我をしたときや体調が悪くなったときなど、その場での対応はアドバイスすることができていますが、今後は、怪我の対応や衛生管理などを職場全体で再度確認し合える場を作っていきたいです。病気への対応などにおいて、医療は日々変化しています。その変化に合わせて私も研鑽を怠らず、保育園に通う子どもたちが健やかに成長していけるように努めていけたらと思っています。

です。体格も性格も成長度合いもそれぞれ違うので難しいことです。はありますが、少しずつでも食べさせてみようかなと思います。もらえる

私たちは『福祉ほうあん』発行に協賛しています

あおのペットクリニック	代表取締役	青 野 浩 之	小田原市府川31-2	☎0465-32-0010
(有)飯山新聞店	代表取締役	飯 山 修	小田原市鴨宮26	☎0465-47-5422
行政書士 池田聡事務所	行政書士	池 田 聡	小田原市久野307-8	☎0465-34-4820
	宝安寺檀家	石 井 寛 治	小田原市中曾根78-6	☎0465-36-2190
(株)伊勢治書店	代表取締役	筒 井 正 博	小田原市栄町2-13-3	☎0465-22-1366
(有)伊勢屋	代表取締役	大 矢 雅 一	小田原市本町3-6-22	☎0465-22-3378
(株)寝具の店 井上	社 長	井 上 久 嘉	小田原市栄町2-10-13	☎0465-22-3141
(有)魚由商店	代表取締役	湯 川 弘	小田原市曾比1776	☎0465-36-0019
(株)大菊商会			東京都世田谷区桜丘3-37-18	☎03-3426-5321
(株)大村楽器店	代表取締役	福 田 良 治	小田原市栄町2-11-28	☎0465-22-7132
(有)オザワ	代表取締役	小 澤 宏 治	小田原市栄町2-13-44	☎0465-22-2280
(株)小田原ジムキ	取締役会長	山 田 克 己	小田原市浜町1-2-5	☎0465-23-0105
(株)小田原城カントリー倶楽部	代表取締役	瓜 谷 綱 延	小田原市根府川667	☎0465-29-0111
小田原報徳自動車(株)・太陽自動車(株)	代表取締役	曾 我 良 成	小田原市浜町1-6-8	☎0465-22-8181
(株)籠 清	取締役社長	石 黒 駒 士	小田原市本町3-5-13	☎0465-22-0251
かものみや耳鼻咽喉科	理事長	鈴 木 正 彦	小田原市南鴨宮3-33-16	☎0465-48-4133
鴨宮自動車学校	代表取締役会長	井 上 三 郎	小田原市南鴨宮2-32-4	☎0465-47-2147
川邊小児科内科医院	理事長	川 邊 修 二	小田原市酒匂5-13-38	☎0465-47-2351
(有)環境技研	代表取締役	立 花 春 夫	厚木市戸田2443-1	☎046-229-6856

旬久野石材	代表取締役	瀬戸誠次	小田原市久野154-17	☎0465-34-4096
くわばら歯科医院		桑原敏樹	小田原市浜町1-1-29	☎0465-22-5565
監理法人 河正会	この歯科診療所 理事長	河野力	小田原市鴨宮601-5	☎0465-48-5455
小林病院	理事長	小林泉	小田原市栄町1-14-18	☎0465-22-3161
さがみ信用金庫	理事長	片桐晃	小田原市浜町1-4-28	☎0465-24-3161
三洋美装		渡瀬剛行	小田原市桑原867-14	☎0465-37-4363
(株)三和消毒	代表取締役	野島謙次	小田原市久野851-4	☎0465-34-3395
渋谷歯科医院		奥津明美	小田原市本町1-1-8	☎0465-22-0418
(株)ジャクエツ藤沢店	店長	牧野宏章	藤沢市大鋸1203-9-10	☎0466-27-0611
	宝安寺檀家	杉崎喜久江	小田原市東町2-2-10	☎0465-34-7254
杉崎茂法律事務所	弁護士	杉崎茂	小田原市本町2-3-24	☎0465-24-1860
杉本登記測量事務所		杉本卓司	足柄上郡松田町松田惣領2173	☎0465-82-6606
鈴木電設	代表	鈴木三夫	小田原市中里75	☎0465-42-2525
(株)スポーツプラザ報徳	代表取締役	安藤博二	小田原市堀之内458	☎0465-37-4600
(株)西湘広告社	代表取締役	諸星晃	小田原市東町4-4-12	☎0465-35-5573
(株)セキグチペーカリー	代表取締役	関口和敏	小田原市東町3-2-1	☎0465-32-7311
(株)セトプリント	代表取締役	瀬戸和美	小田原市久野470-6	☎0465-34-3211
(株)瀬戸米穀店	代表取締役	瀬戸秀幸	小田原市本町1-9-47	☎0465-22-4125
太洋物流(株)	代表取締役	稲葉秀之	小田原市鬼柳486	☎0465-37-5533

社会福祉法人

保安寺社会事業部

平成25年度事業報告

小田原乳児園

[小さいお子さん(0～2歳)の保育園です]

階段をハイハイ、フェルトの壁絵をタッチ、階段は楽しい遊び場に変身

- ・小さいお子さんが安全に過ごせるよう工夫し、一人ひとりが身体面、運動面で望ましい発達をとげられるように遊びを工夫しました。
- ・食育活動として、なす、ピーマン、いんげんを植えました。保育士が「ここね!」と指差した土の穴に興味深そうに見ながら植えることができました。大事に育てると小さいながらも愛着がわき、苦手な野菜も食べられました。
- ・子育てオアシス(愛児園と合同で実施)の利用者のべ1366名。れんげ組(一時保育)827名。地域支援として、家庭で保育している親子がホッと一息つける場を提供しました。

小田原愛児園

[2歳～就学前までのお子さんの保育園です]

ちょっとドキドキ!! 茶道体験

- ・園内にいつも素敵なお花を生けてくださっているボランティアの中西さんに、卒園記念の茶道教室を開いていただきました。お茶を点てるのを興味深く、じっと見つめる子どもたちのキラキラした目は、愛児園でのさまざまな経験を通し、心も体も大きく成長したことを感じさせてくれました。
- ・その他、サッカー教室(足柄FC)、ピアノコンサート(大村楽器)、森のクラフト教室(森谷さん)、老人ホーム陽光の園訪問など、優しく見守ってくださる地域の皆さま、たくさんのふれあいの機会を持たせていただきまして、ありがとうございました。

ほうあん ふじ

[地域の子どものための「児童発達支援センター」です]

ホールを大改造。ターザンロープや吊り具で感覚統合遊び

平成24年4月、児童発達支援センターに生まれ変わって2年が経ち、専門職の集団によるチームアプローチ態勢の強化を課題として取り組んできました。通園児全員に臨床心理士および作業療法士による評価を実施しました。また、職員の資質向上のため、ケース検討会議や研修会を積極的に行ってきました。26年度は利用児の支援強化のための環境整備に力を入れていきます。

ほうあんのぞみ

[障害のある人の就労支援や生活支援、余暇活動を提供。喫茶・売店も運営しています]

施設外での作業も一生懸命に頑張っています

- ・パティシエ高橋佳世さんの協力を得て、レモンクッキーやブラウニーなどの新商品を開発・販売しました。売り上げも好調でした。
- ・施設外の仕事として、新たにチラシのポスティング(大村楽器店)や清掃・梱包(オト・コーポレーション)などの仕事を始めました。
- ・ハローワークなどとの連携により、利用者3名が企業に就職しました(ホテル業2名、物流会社1名)。
- ・森谷工房さんの協力のもと、小田原市久野の山林の間伐材を使っの「てっぺん木」作りに取り組みました。

ほうあん 第一しおん

[就労に向けた訓練、特性に合わせた仕事を提供。中高生の放課後活動スペースも運営しています]

パン工房「グウテ」では地産地消を意識し、湘南ゴールドを使用したパンの販売も開始しました。

- ・養護学校、特別支援学級の生徒を対象にした放課後等デイサービス事業では、作業や生活訓練を通して、今後に必要な生活力を高めることができました。利用人数も増加し、将来を見据えた活動を行いました。

地産地消、湘南ゴールドを使ったパンも

ほうあん 第二しおん

[障害のある方たちが、楽しんで活動し、充実した毎日を送るための支援をしています]

ヒルトンの販売コーナーです

利用者のご家族が共に年齢を重ねるなか、これからも笑顔でいられるよう4つのことに取り組んでいます。

①重症心身障害者を対象とした、ほうあんホーム シトラス(グループホーム)の開設準備。②医療ケア対応や高齢化対応の勉強と資格取得。③重い障害がある方の「暮らし」を支えるための職員育成への取り組み。④地域との交流。ヒルトン小田原リゾート&スパ様の温かいご協力をいただき、ホテルショップの常設での作品展示・販売や、多くの社員の方によるボランティア活動が行われました。今後も地域の方を招いたイベントを企画していきます。

ほうあん ふじみのさと

[障害のある方たちが共に生活し、活動する場です]

運動の台間の一休み

- ・野菜作りを本格的に開始し、今では7種類の野菜を育てるまでになりました。利用者さんも意欲的に参加しています。給食食材として販売したり、小田原愛児園やほうあんふじの園児と芋ほりを通じて交流しました。
- ・短期入所受け入れ強化のため増床工事を行い、短期入所の部屋を2部屋増室しました(現在、定員5名)。
- ・市内のさまざまなイベントに利用者さんが参加し、シュシュやモップの実演製作や販売を行いました。

社会福祉法人 保安寺社会事業部

平成25年度決算報告

平成25年度決算についてご報告いたします。25年度は、①重度・重症心身障害者のためのグループホーム建設(9700万円)、②大災害時に備えての太陽光発電システム導入(1500万円)、③今後の福祉事業展開のための土地取得(6300万円)、④短期入所室の増室(2000万円)などの投資を行いました。

①は重症心身障害者に対応したグループホーム建設ですが、障害のある方の自立と暮らしを支える取り組みとして、神奈川県及び小田原市のご尽力とご協力を得て建設することができました(国庫補助金3047万円、小田原市補助金22・1万円)。

②は大災害時の利用者支援に最低限必要な電力確保と、地域のお役に少しでも立つための太陽光パネル設置です。県の補助金485・3万円を受けることができました。

③は更なる地域福祉への貢献を目指した小田原市本町の土地取得です。現在この地域で何が求められており、何を行うべきなのか見極めるための検討を行っています。

④は「障害者の緊急時の短期入所が少なく」というご家族・地域の声に応えたふじみのvさとの2部屋増室です。県の補助金250万円を受けることができました。

これらの投資の結果、24年度決算で7・8億円ありました現金預金及び各種積立資産は、

(単位:万円) 平成25年度決算 貸借対照表 (平成26年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
流動資産	51,891	流動負債	16,370
現金預金	33,380	未払い金	7,282
未収金	17,924	1年以内返済予定借入金	3,390
商品・原材料	76	預り金	867
立替金	191	仮受金等	38
前払い金	83	賞与引当金	4,793
その他の流動資産	237	固定負債	41,856
固定資産	269,528	設備資金借入金	35,480
基本財産(土地・建物)	226,365	退職給付引当金	6,376
その他の建物・構築物	4,872	負債の部合計	58,226
器具及び備品	7,372	純資産の部	
車輛運搬具	1,658	基本金	60,359
その他の固定資産	97	国庫補助金等特別積立金	108,028
退職給付引当資産	6,376	その他の積立金	22,788
積立資産	22,788	次期繰越活動収支差額(うち当期分 6,127)	72,018
資産の部合計	321,419	純資産の部合計	263,193
資産の部合計	321,419	負債及び純資産の部合計	321,419

※) 25年度より新社会福祉法人会計基準に移行しました。新会計では期末に賞与引当金を計上することが義務化されたことなどにより、当期活動増減差額が約6100万円と、従来平均に比べて4000万円ほど低い額となりました。

決算の詳細についてはHP (<http://houan1900.jp>) をご覧ください。